



2013年
12月号

風の子便り

社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園

<http://www.takasago-hoikuen.com>

早いもので年の瀬を迎える候となりました。

と、その前に「クリスマス」ですね。保育園でもイエス様の誕生をお祝いする「クリスマス会」が開催されます。

ともすると「サンタさんの日」になってしまいがちですが、各ご家庭でも是非クリスマスの意味を話す時を持って頂ければと思います。

この一年、あっという間でしたか？なが～く感じましたか？

私は年々、一年が短く感じてしまいます。昔はこんなじゃなかったのに～

子どもにとって、毎日が新しい体験、新しい発見の繰り返しから、長く感じているといわれます。

2014年 新しい年は、子ども達にとって、そして大人にとっても安心して生活できる一年であるようお祈りいたしましょう。

本年も沢山のご協力を頂きましてありがとうございます。

よいお年をお迎え下さい。



お誕生日おめでとう

1才おめでとう	りおちゃん ひろとくん
2才おめでとう	ゆうとくん
3才おめでとう	しゅりちゃん
4才おめでとう	せいくん
5才おめでとう	れいあちゃん
6才おめでとう	

12月の予定		
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	クリスマス会合同練習
5	金	図書館（5才）
6	金	幼児誕生会★ 防災訓練
7	土	
8	日	
9	月	ちゅっちゅこっこの会★
10	火	クリスマス会ハール 記念写真撮影（3,4,5才） 0才児検診 健康相談の日★
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	クリスマス会★
15	日	
16	月	乳児誕生会★ なかし広場★ ちゅっちゅこっこのPPD
17	火	発達相談の日★
18	水	照子おばちゃんのお話し会
19	木	防犯訓練
20	金	会食会（3,4,5才）
21	土	
22	日	
23	祝	
24	火	クリスマスッキング（5才）
25	水	クリスマスキャロル（近隣挨拶4才）
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	休園
30	月	休園
31	火	休園～1月3日（金）まで休園

★印の日は、どなたでもご自由に参加いただけます
（予定は変更になる場合があります）

ひつじぐみからこんにちは

ひつじ組の子ども達は体を動かすことが大好きです。中でも、鬼にタッチされて鬼を交代する「鬼ごっこ」。又、警察と泥棒のチームに分かれて捕まえる、ちよつとルールが複雑な「ドロケイ」も行えるようになってきました。

鬼がタッチしたのに「タッチされていない！」。鬼に捕まったのが悔しくて「たたいたのが、いたかった」と感情がぶつかり合うこともしばしばです。

そんな中であっても、最後まで諦めないで、泥棒を捕まえる醍醐味を味わい、友だちと協力して逃げたり捕まえたりする事を楽しんでます。

これから寒い季節に入っていきますが
お外で、沢山体を動かしていきたいと思えます。



こどものつぶやき

クリスマス会の合同練習がありました。
クラスに帰ってきて 子どもたちとの会話です。

うさぎ組（2才）

子どもA：「Aは あかちゃん だっこしてるひとやる〜」

先生：「あ〜 マリア様の事ね」

子どもB：「Bはね〜 おはなもっているひとがいい〜」

先生：「あ〜 てんしがやりたいのね〜」

子どもC：「Cはね〜 ぼうのひとがいいの」

先生：「???」

先生：「ぼうのひと？」

先生：「あ〜 羊飼いがいいのね！」

羊飼いは杖をついての登場です。
子ども達はその杖が、とても印象深かったんですね。
クリスマス会当日の羊飼い登場を、是非ご覧下さい。

「うがい、手洗いしてるかな〜」

吉崎先生（小児嘱託医）



「歯磨きやってるかな〜」
桜井先生（歯科嘱託医）



勤労感謝訪問に行ってきました

11月22日の「勤労感謝の日」にちなみ、日頃よりお世話になっている嘱託医の先生や交番、消防署へ訪問し、感謝の気持ちをお伝えしました。

交番の中に入って、おまわりさんと親しくお話しを聞くことは、なかなかできることではありませんが、良いチャンスになりました。

又、訪問先でご挨拶をする事なども体験できました。

クリスマス会に来てね

日時場所：12月14日（土）9：30～たかさご保育園 ぞう組

プログラム	・りす組（3才）	唄「赤鼻のトナカイ」
	・ひつじ組（4才）	聖歌隊となり讃美歌 「神様のおやくそく」 「いざうたえ」
	・ぞう組（5才）	聖劇（イエス様降誕劇）
	・お楽しみ	????



いつも見守ってくれて
ありがとうございます。
高砂交番にて

金町教会を訪問しました

たかさご保育園では、毎年クリスマス会にイエス様のお誕生を劇にした「聖劇」を演じます。

演じるはぞう組（5才）さん。上記「こどものつぶやき」にあるように、ぞう組の練習姿を見た他のクラスの子も達は、「私は〇〇をやりたい」「僕は〇〇」と、希望の役柄を心に決めているようです。ですのでお友達と役が重なってしまうと一大事です。お互いに主張し合うこともあります。そこは柔軟な子ども達、マリア様が2～3名いることも有りです。

このように憧れのぞう組さんの姿を見て、50年以上の間「聖劇」が脈々と伝承されてきました。

先日ぞう組さんは「金町教会」に訪問し、牧師さんから「クリスマスって誰のお誕生日？」の質問に

「イエス様〜！」と皆で答えていました。「教会」でその静寂さに緊張の面持ちの子ども達。

「聖劇」を演じる前に良い経験ができました。



たかさごの教育（手先）

第8回

ぞう組になると、手指の操作の巧緻性が高まり、手先を使ったより細かい作業が可能になってきます。

折り紙では、見本を見て自分たちで折りたいもの（ゆりの花や金魚など）を折り進めています。

ガラクタコーナーでは、自分で作りたいもの（中身が飛び出すビックリ箱やパソコンなど）を立体的に、そしてイメージしたものにより近づける為、ひと工夫しています。

又、様々な道具（はさみ、のり、セロテープなど）や素材（厚みのあるもの、薄手のもの、でこぼこしたものなど）を使いこなし、作り上げられるようになってきました。

夏には、終戦記念日に向けて、千羽鶴を折る経験をしました。秋には、風の子広場で披露した荒馬踊りに使う手綱をみつあみで編むも経験をしてきました。

これからは就学に向け、箸のもち方の再確認をし、その応用である鉛筆を正しく持つ機会をふやし、お手紙を書くお手紙ごっこなどの活動も予定しています。